



報道機関 各位

「東久留米市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました

令和5年第1回市議会定例会初日(3月1日)における令和5年度施政方針演説の中で、「東久留米市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。



地球温暖化や気候変動の問題は、世界共通の課題であり脱炭素化への歩みが進められており、わが国でも、2020年10月に「カーボンニュートラル」を宣言し、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにするとの高い目標を掲げ、国を挙げた取り組みが推し進められています。

東久留米市でも、「脱炭素化・再生可能エネルギーの利用に向けた最適化の基本的考え方」、「東久留米市第四次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」の策定、VPP事業および太陽光発電のPPA事業の推進、フードドライブの常時受付窓口の設置やペットボトルの水平リサイクル事業など、地球温暖化対策や脱炭素化に向けた取り組みを推進しています。

東久留米市は、私たちが生まれ住むこの地球環境を次の世代にも引き継げるよう、市民・事業者・行政が一体となり「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指していきます。

なお、ゼロカーボンシティ宣言メッセージ動画を現在作成中であり、準備が整い次第、市公式動画チャンネルで公開予定です。

【宣言文】 別紙のとおり

■問い合わせ先

環境政策課長・浅海 電話042・470・7753

東久留米市企画経営室秘書広報課 齊藤
TEL042-470-7712 Fax042-470-7804
E-mail: hishokoho@city.higashikurume.lg.jp

湧水の妖精
るるめちゃん

東久留米市地域資源PRキャラクター



東久留米市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化や気候変動の問題については世界的に見ても、平均気温の上昇や海水面の上昇、干ばつや寒波、台風の大型化などにより災害が激甚化するとともに、すべての生態系に大きな影響を与えています。

2015年に採択されたパリ協定では、世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することとし、人類共通の取り組むべき課題として、世界各国において「脱炭素化」への歩みを進めています。わが国でも、2020年10月に「カーボンニュートラル」を宣言し、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにするとの高い目標を掲げ、国を挙げた取組みを推し進めています。

こうした中、当市が脱炭素化に取り組むにあたっては、これまでの省エネルギー化に加え、資源に限りのある化石燃料から地域資源としてのグリーン電力、再生可能エネルギーへの転換や減災レジリエンスとの連動等を図り、持続可能な強靱性の高いまちを創造する視点が大切です。また、日々の生活を営む際に排出される廃棄物の更なる減量、資源の循環利用に取り組むことも重要です。

私たちは、今を生きるものとして、地球の未来に、将来の世代に大きな責任を負っています。私たちの行動の一つひとつが、人類共通のチャレンジへとつながり、ひいては、「あんしんして暮らせるまち」をつくれます。

東久留米市は、私たちが生まれ住むこの地球環境を次の世代に引き継げるよう、市民・事業者・行政が一体となり「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指すことをここに宣言します。

令和5年3月1日

東久留米市長 富田 竜馬